10月 ゆりぐみつうしん



ブームはお店屋さんからお医者さんごっこへ

いつものように子どもたちに「何して遊びたい？」と聞くと「お医者さんしたい！」の意見が出ました。それならごっこあそびの参考になったらいいなと絵本『ねこのおいしゃさん』を読みました。一緒にお医者さんになって患者さんに「にゃー」と気合を入れるシーンや「お大事に」「次の方どうぞ。」と繰り返されるやりとりを楽しむ子どもたちでした。ページの最後にある歌は、初めてなのに口ずさむ子までいましたよ♡



ゆり組にあるお医者さんセットを出すとお医者さんになりたがる子どもたち。
赤ちゃんの人形や保育者が患者になると「ハ、ハー！」「なおれー！」とオリジナルの気合を入れたり、「コンコンムシがいます！」とピンセットで取ったりと絵本の世界を真似する姿がみられましたよ。



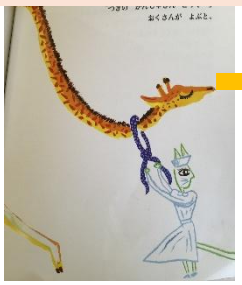








絵本の場面を真似して、患者さん役の子にハンカチを首に巻いてあげる所まで再現していました♪





「お大事にー！」「次の方どうぞー！」とお医者さんならではの、言葉のやりとりも早速取り入れていました！



ごっこあそびの中だけでけでなく、気持ちが落ち込んでしまった友だちを見て「ニャニャニャー！」と気合を入れる姿が見られる子どもたちで、体の不調だけでなく心の不調にも寄り添ってくれる優しいゆり組のお医者さんたちです♡

楽しい雰囲気の中で正しく食事しよう！

見本を見ながら自分で正しい位置に食器を並べたり、スプーンの三点持ちを意識しています。



玄関の献立見本にも実際使われている食器が展示されていますので、ぜひ見比べてみてください。



きく組に向けて、スプーンからお箸、食器も陶器へと変更していきます。陶器にすることで食事の暖かさや冷たさがダイレクトに感じられ、食に対する五感が刺激されます。また、陶器ならではの適度な重みが手首で支える力を養ったり、スプーンですくう際にもお皿が動きにくく、ひっくり返りにくいという利点があります。少しずつお箸へ移行していきたいと思っていますので家庭でも是非チャレンジしてみてください♪